

アルゼンチンアリの見分け方

都市部の公園、庭、民家周辺などで見られる日本在来のアリは10数種類ほどです。

それらとアルゼンチンアリは以下の手順で区別します。

● 体の色は茶色である。



Yes

茶色（赤褐色～黒褐色）



No



黒～灰色 or 橙色～黄色

※ごく稀に黒っぽいアルゼンチンアリがいるので注意！



在来アリ

● 体の大きさは2.5～3.0mm程度である。



Yes

2.5～3.0mm



No

8mm以上



4mm



2mm以下

※1匹では分かりにくいので、リーフレット外周の実物大行列と比べてみて下さい



在来アリ

● 体はスマートである。



Yes

スマート



No

ずんぐり



在来アリ

ここまで来れば残り 2～3種類！

トビイロケアリ
(約8倍)

アミメアリ
(約8倍)



アルゼンチンアリ

外来アリ

「つや・赤み」
が弱い

くびれ
目立たない

働きアリ（約8倍）

御用

- ①全身ほとんど色の濃淡がない
- ②肉眼では腰のくびれは目立たない
- ③体の「つや」が弱い
- ④体色に赤みがない
- ⑤脚の長さは目立たない
- ⑥行列に頭の大きな兵隊アリはない
- ⑦建物の中まで行列が入る
- ⑧数が多い時には行列が帯状になる
- ⑨高速でせわしなく歩く

※リーフレットの外周が実物大の行列

最後はじっくり観察です。どちら？

オオズアリ

実物大の行列

在来アリ

「つや・赤み」
が強い

くびれ
目立つ

頭：濃
胸：薄
腹：濃

働きアリ（約8倍）

①頭と腹が胸より色が濃い
②肉眼で腰のくびれが目立つ
③体の「つや」が強い
④体色の赤みが強い
⑤脚の長さが目立つ
⑥行列に頭の大きな兵隊アリが混じる
⑦建物内まで行列は入らない
⑧行列は線状
⑨比較的ゆっくり歩く

トビイロシワアリ

実物大の行列

在来アリ

働きアリ（約8倍）

④体色は黒っぽい（※ほぼ黒いアリなので通常は体色で区別できますが、茶色っぽいものもいるので注意！）

⑦建物内まで行列は入らない
⑧行列は線状
⑨比較的ゆっくり歩く



侵入種！アルゼンチンアリ

アルゼンチンアリは、**南米原産のアリ**で人間の交易に附隨して、ここ100年ほどの間に世界中に広がった侵略的外来生物の一つです。日本では1993年に広島県廿日市市で最初に発見され、その後、山口県岩国市、柳井市、広島市、兵庫県神戸市、愛知県田原市などへ分布を広げています。侵入地では、在来アリを駆逐するなど生態系への影響が心配されるほか、頻繁に家屋内へ侵入し、食品に群がったり、布団の中にまで入り込んで安眠を妨げたりと**衛生害虫として大きな問題**になっています。このため、外来生物法の「特定外来生物」に指定され、防除方法が検討されています。



2006年現在の侵入地

★アルゼンチンアリの防除について★

アルゼンチンアリは、連続した複数の巣の中に女王アリがたくさんいる「多女王多巣制」という巨大な社会をつくり、旺盛な繁殖力でどんどん増えていきます。これまで世界中の侵入地で防除が試みられてきましたが、未だ完全駆除に成功した国はありません。このため、現時点での根本的な防除法は紹介できませんが、**アリが集まりやすい環境をなくすこと**と、**各種殺虫剤を効果的に組み合わせること**で、家屋内への侵入はかなり防ぐことができます。

①アリが集まりやすい環境をなくす

下の絵の左3例はアリが巣を作るきっかけとなる場所を与えています。ポイントは、地面にじかに物を置かずに立て掛けるか台の上に置くことです。また、食べ物をテーブルの上などに長時間放置しないようにしましょう。



②殺虫剤の種類と使う際の留意点

現在市販されているアリ用殺虫剤には、その形状によって大きく以下の4種類に分けられます。それぞれに長所、短所がありますので、アリの発生状況と目的によって、使い分けまたは組み合わせて使うと効果的です。

屋内・屋外

エアゾール型

長所：目の前のアリに即効性がある。
短所：巣の中のアリまでは防除困難である。

【留意点】

- 顔などに誤噴射しないように注意する。
- 廃棄時は穴をあけて、ガス抜きを忘れずに。
- 子供の手の届かない冷暗所に保管する。

液体型

主に屋外

長所：目の前のアリに即効性があるほか、遅効性のタイプもある。
短所：家屋内で使いにくい。

【留意点】

- 水系に流入しないよう注意が必要である。
- 散布時に飛散した液が目に入らないよう注意する。
- 手などにかかった場合はよく洗う。
- 揮発成分の含まれるものは吸入に注意する。
- 子供の手の届かない場所に保管する。

粉末型

主に屋外

長所：殺虫成分を含むものもあるが持続的な忌避効果が期待できる。
短所：薬剤 자체が目立つ。

【留意点】

- 水系に流入しないよう注意が必要である。
- 散布時に飛散した微粉末の吸入に注意する。
- 乳幼児やペットの誤食予防措置が必要である。
- 子供の手の届かない冷暗所に保管する。

屋内・屋外

ベト(餌)型

長所：設置が簡単。環境への負荷が極めて少ない。巣のアリを駆除できる。
短所：遅効性なのですぐに効果が実感できない。

【留意点】

- ケースの破損によるベイトの飛散に注意する。
- 乳幼児やペットの誤食予防措置が必要である。
- アルゼンチンアリには液体またはゼリー餌タイプを使用する。